

第2回奈良市ボランティアインフォメーションセンター運営推進懇話会 会議の概要		
開催日時	平成28年2月23日(火) 午前10時～正午まで	
開催場所	奈良市ボランティアインフォメーションセンター	
議 題	<p>1 開会 ・市民活動部長あいさつ</p> <p>2 案件 (1) 奈良市ボランティアインフォメーションセンターについて ①平成27年度利用状況について ②平成27年度実施事業について ③平成27年度第1回運営推進懇話会における助言と対応について (2) 奈良市ボランティアインフォメーションセンターアンケート結果について 利用者アンケート(個人・登録団体)結果 (3) 平成28年度奈良市ボランティアインフォメーションセンター事業計画について</p> <p>3 閉会</p>	
出席者	委員	秋葉武さん、井上芳恵さん、藤野正弘さん【計3人出席】
	事務局	今西市民活動部長、柴田協働推進課長、小山協働推進課主幹、高岡協働推進課係長、桧山ボランティアコーディネーター、末武ボランティアコーディネーター、事務局(協働推進課)
開催形態	公開(傍聴人0人、報道関係者0人)	
担当課	市民活動部協働推進課	
議事の内容		
<p>1 開会 ・市民活動部長あいさつ</p> <p>2 案件 (1) 奈良市ボランティアインフォメーションセンターについて ①平成27年度利用状況について事務局から説明を行った。 主な意見は以下の通り。 ・講座などをきっかけとして、現在の登録団体だけでなく新しい団体を開拓する方法も考えてほしい。 ・講座の中で団体が抱えている悩みにどのように取り組み、どのように解決に向け取り組んでいったかなど、成果を発信していくことで、他の団体もリアルなイメージを抱くことができ、講座に対する関心も湧く。講座を開催するだけでなく、成果を発信していくことが次年度への事業にも繋がっていくはずである。</p>		

②平成27年度実施事業について事務局から説明を行った。

主な意見は以下の通り。

- ・講座をセンターだけで完結するのではなく、アウトプットしていくことが重要である。絵本補修ボランティアのように、講座を開催した後に受講者達が団体を結成して活動していくことで、他の地域にも活動を広げていける可能性がある。そのような組織化への相談に乗れるようになるのもセンターの役割である。
- ・地域のニーズがある分野だけの相談だけを受けるのではなく、その他幅広い相談が地域から出てきたときにも対応できるよう、コーディネート力のスキルアップをすることで、相談者も増え、登録団体も増加していくはずである。

③平成27年度第1回運営推進懇話会における助言と対応について事務局から説明を行った。

意見は特になし。

(2) 奈良市ボランティアインフォメーションセンターアンケート結果について

利用者アンケート（個人・登録団体）結果について事務局から説明を行った。

主な意見は以下の通り。

- ・アンケートを利用して、センターの平均的な利用者像を分析し、センターの方向性や力を入れるべき箇所を決めた方が良い。相談は重要な項目であるが、現在は活動の相談をしている人の割合が少ないため、職員の個々のスキルアップを図るべきである。
- ・活動に不自由しておらず、センターに相談する必要がないと考えている団体にも、他団体と連携しての活動を促すなど、新しいフィールドでの活動のきっかけづくりやアプローチをしていくと、それに対しての相談が出てきたり、情報を求めてきたり等、違う動きが出てくるかもしれない。パネル展やHUG2祭りなど、団体が交流する機会を活かして、今の活動に満足している団体にも、何かアクションを起こせる取り組みが必要になるのではと思った。
- ・アンケートの項目が多すぎるため、重複している項目などを見直すべきである。

(3) 平成28年度奈良市ボランティアインフォメーションセンター事業計画について事務局から説明を行った。

主な意見は以下の通り。

- ・センターが自身の成果を上手く発信できていないので、広報力を充実させることが望まれる。
- ・中高年やパソコンを不得手とする団体もホームページ等で自ら情報発信してることが求められている。ITに関する知識に含めて情報発信のツールとしてインターネット・フェイスブック・ホームページ等の講座を検討してみてもいいと思う。
- ・センターで講座を受講した方が地域で活動していく上でのサポートをしていくことが望ましい。今後は講座の修了者が、地域の次の活躍の場を地域と繋ぐ支援も期待したい。

3 閉 会

以上